

# 会 議 報 告 書

会議名	令和5年度 第1回社会教育委員会議	
日 時	令和5年5月2日(火) 午後3時から5時まで	
場 所	三島市民生涯学習センター 3階 講義室	
出席者	社会教育 委員	永倉委員長、本持委員、高橋委員、前田委員、靱山委員、大澤委員、朝日委員、石井委員、齋藤委員、飯塚委員、吉田委員
	事務局	小塚教育長、鈴木教育推進部長、若林生涯学習課長、渡辺図書館長、辻文化財課長、加藤文化振興課長、星谷係長、稲木係長、上田指導主事、堤主事
傍聴人	なし(公開会議、傍聴人定員2名)	
項 目	趣 旨	
1 開 会		
2 挨拶	<p>●教育委員会 教育長より挨拶</p> <p>●社会教育委員 委員長より挨拶</p>	
3 職員紹介	教育推進部長より職員紹介	
4 議 事 (報告・協議)	<p>(1) 令和5年度 主要事業・予算概要について 各課長より資料に沿って説明</p> <p>(質問) 文化財の過度な活用とは。 人気観光地の城では、訪れる観光客が増えすぎたことにより、石垣の石に触れるなどして石と石の間にずれが生じたり、植物が踏まれる事例が発生している。 また、触れることが可能な文化財では、表面が少しずつ削れ、質感に変化が生じてしまっているものもある。現在、三島市内では前述のような事案は発生していないが、山中城は非常に人気の観光地でもあるため、今後、入場者が多くなりすぎると踏まれた芝が枯れてしまう恐れもある。保護措置を講じつつ、お客様に来ていただく必要がある。</p>	
委員 文化財課長		

(2) 令和4年度 第4・四半期の経過報告及び  
令和5年度 第1・四半期の予定報告

各課長より資料に沿って説明

(質問)

委員	文化会館の有料チケットを生涯学習センター1階の総合窓口等で販売することは可能か。
文化振興課長	現在、当該チケットは文化会館指定管理者の下で販売している。販売可否については内容を精査し、次回の会議で回答させていただく。
委員	施設利用者の目に入る箇所にポスター掲示するなど、周知活動に努めてもらいたい。前向きに検討を。
生涯学習課長	児童センター・三島市地域活動連絡協議会主催「0歳からのクラシック」と市民文化会館自主文化事業「0歳から入れるクラシックコンサート」は連動しているのか。
委員	関係者を十分把握していないため、こちらも次回の会議までに回答させていただく。
生涯学習課長	北上公民館で行われた「0歳からのクラシック」は有料だったのか。
委員	無料で実施した。
生涯学習課長	3月18日に実施した「少年少女発明クラブ閉講式」内で、実験は行われたのか。
委員	当センター講義室で、初級・上級それぞれ1年間の成果を披露する場を設けた。初級ではリモコンカーの作成を、上級ではパソコンでプログラミングをそれぞれ行い、実演・披露した。
生涯学習課長	内容が素晴らしいと感じる。一方、毎年応募者が多いと聞いているが、今年度は定員を増やすなど、改善の動きはあるのか。
委員	コロナ禍により施設利用者数の制限対策を講じていたため、希望者全員の受入れは難しかったが、制限を撤廃したことにより、最大限の受入れを行う予定。指導者の人員の確保も課題となっており、相乗的に上げつつも、希望する子供たち全てを受入れたいと考えている。
生涯学習課長	指導者の増員や施設規模の拡大には費用を要する。サポーターズクラブにおいても、今年度時間をかけ、より良い仕組みを考え、地元企業と協力し、バックアップしていく所存である。
委員	近隣市町と比較しても、少年少女発明クラブへの支援が手厚いと聞いている。引き続きお願いしたい。
委員	文化振興課事業の「花・音・ストリート」だが、事業名称にインパクトを感じない。
文化振興課長	また、参加者予定数に20人と記載があるが、華道連盟の参加者のことなのか。参加予定人数の20人という数は一般の方を10組募集し、予定数として20人と記載した。当該事業は実証実験を重ね、今回初めて実施することとなったが、

<p>委員</p>	<p>(続き)  名称については、次回開催する際に課内で検討させていただく。  「みしま花のまちフェア」では、これまで三島華道連盟が楽寿園に作品を出展していたが、今回は大社町別館のスタンプラリー箇所には花を展示することとなっている。</p> <p><b>(3) 学校と地域の連携・協働について</b>  指導主事より資料に沿って説明</p> <p><b>(4) 委員報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2月 1日 (水) 令和4年度第2回三島市青少年問題協議会 委員長より説明</li> <li>・ 2月10日 (金) 令和4年度第2回青少年相談室運営懇話会 女性青少年係長より説明</li> <li>・ 2月16日 (木) 令和4年度第2回三島市民生涯学習センター運営委員会 委員より説明</li> <li>・ 2月21日 (火) 令和4年度社会教育関係者研修会 委員長より説明</li> <li>・ 3月17日 (金) 令和4年度第2回三島市郷土資料館運営協議会 文化財課長より説明</li> <li>・ 4月15日 (土) 三島市少年少女発明クラブ実行委員会 女性青少年係長より説明</li> </ul>
<p><b>5 その他</b></p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>議事 (3) 学校と地域の連携・協働についての意見</p> <p>「教育基本法第一条」について、「人格の完成を目指し」と謳われているが、「人格の形成・成長」といった言葉の方が良いのではないかと感じている。「完成」という言い方は物を作るように思え、抵抗を感じる。人は心を育てることが第一だと考えている。先生方や地域の方々には大変有難く思っているが、90%が家庭教育であり、残り5%ずつが学校教育と社会教育だと常々感じている。</p> <p>教育基本法に関して私から申し上げることは出来ないが、三島市の教育では「徳」「知」「体」の順となっており、学校の教育目標でも「徳」、つまり心を育てるところから始め、勉強、運動をと進めている。</p> <p>また、家庭教育が90%ということだが、生涯学習課では家庭教育支援事業にも取り組んでおり、コロナ禍の影響により、横のつながりが希薄化、相談が難しい方のためにも手を差し伸べていけたらと考えている。</p>

6 閉 会